

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

9年7月現在 逗葉大山船 (合計)	地区区計	会員数 147名 216名 40名 403名	9年7月(300号) 発行 加藤集 中村岳	相者愛
-------------------------	------	------------------------------------	--------------------------------	-----

行事予定

○碩心会総会

日時・7月13日(日)午後1時30分より
 会場・逗子図書館講座室

○県本部総伝会

日時・7月20日(日)
 会場・平塚農業会館

○県本部指導者講習会

日時・8月10日(日) 9時受付
 会場・エポック中原大ホール

JR南武線「武蔵中原駅」下車、改札口より連絡通路で直接会場に入れます。

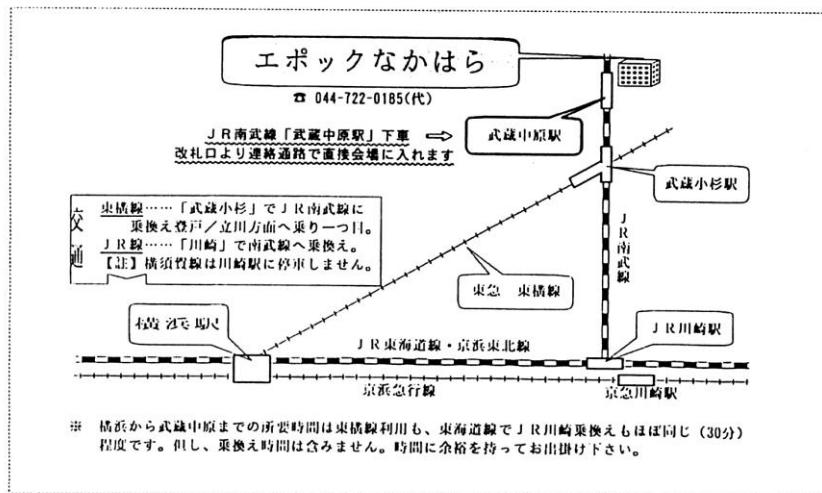
○県本部所属の会の準師範以上。
 ○テキスト、弁当、茶が出ます。

総務理事、議長に

平成9年6月15日付で千葉岳関先生が、神奈川県本部総務理事、議長を委嘱されました。

審査代行委員に

平成9年4月1日付で新しく左記二名が、神奈川県本部審査代行委員を任命されました。
 千葉岳関・加藤岳洵



年輪と年とし

逗子A 小形雄岳

『雪の重さを 揆ねのけながら
背のびしたかろ 枝も葉も

山に若葉の 春がくりや

よくぞ耐えたと 笑う風

苦勞年輪 樹は育つ』

いきなり演歌の大御所、北島三郎が唄う歌

詞を書かせていただき恐縮ですが、碩心会創

立60周年吟道大会は、碩心会創設者松井岳洋

先生を始め、多くの諸先生方のご努力と熱意

の集大成だったと思います。そのご苦勞に改

めて感謝すると共に、その中には会員一人一

人の年輪も刻み込まれていることを思い、特

に今回お身体の不自由を押して吟詠された、

根岸岳萃先生、三井岳隴先生のお姿には胸に

熱いものがこみ上げてきてたまらない思いで

した。

また構成吟の出演者の方々も、大変な努力

だったと思います。特に詩舞の中村先生には

御主人のご病氣のこともあり、胸中計り知れ

ないものがあつたと思います。

しかし舞台に立たれるときの凛としたお姿
にはいつもながら誠意、熱意、創意が滲み出
て胸を打つものがあり。本当に頭が下がりがま
した。

今回の大会では、私も九段の許証を授かる

ことが出来ましたので、吾ながら本当に長い

間やって来たんだなあ…という思いと共に、

いやいや、これをステップにして、まだまだ

これからという気持が交又していました。そ

して割り当てられた独吟では、私の吟道を支

えてきた最も大好きな漢詩である『勸学』を

吟じさせていただきました。

『盛年重ねて来たらず一日再び晨なり難し、

時に及んで当に勉勵すべし…』 私は

詩の心を自分に言い聞かせるように、一言一

言を大切に吟じました。しかしここまで来た

とき何故か頭の中が真白になってしまい、一

瞬、間があいたとき会場の中から「歳月は人

を待たず」という小さな声が飛んできたので

す。間髪を入れず私もそれを吟じたのですか

…ああ、これは年輪じゃなくて年のせいかな

と舞台の袖に引き下つた次第です。

失礼しました。

俳句

山口岳夕

老鶯や手許狂はず黒玉子

大文字の地肌乾きて梅雨晴間

三壁照岳

葛餅や雨をはじきし草の丈

彫り深き句碑や樹の間の揚羽蝶

(姓名の訂正)

5月号入会届の476地見星子は誤りで、地現

星子に訂正お願いします。

(支部消滅)

葉山地区星山支部は会員数〇により消滅、

碩心会支部は26支部となりました。

(移 籍)

131黒崎幸岳・葉山地区星山支部より、逗子

地区逗子A支部に移籍しました。

(入 会)

478 中村節子 葉山町堀内一九五〇―一四

(東伏見) ☎〇四六八―七五―三九八六

(退 会)

171 新井瑞風(真澄) 174 北村雅風(真澄)

348 鈴木明山(躰・F) 396 大橋政子(栄)

468 矢嶋友理枝(躰・F) 477 原島公子(若葉)